

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係

事務事業 02733 環境基本計画推進事業

所属長名 籠瀬 博敬

担当者 天野 涼太郎

電話番号 0566-71-2280

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	002	低炭素社会の実現			
事務事業	001	環境基本計画推進事業			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	環境基本法、環境基本条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・環境マネジメントシステム維持管理事務 ・環境基本計画推進事業				

【事業分析】

対象	市民や事業者が、
目的	環境に対する意識が高まり、環境に配慮した行動の実践と連携・協働が図られ、環境都市の実現に貢献します。
手段	安城市環境基本計画に基づき、環境施策を推進します。
事務内容	環境基本計画の策定と環境施策の進捗管理のための報告書の作成を行い、環境審議会で報告し、意見を伺います。 。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		12,941	14,233	11,981
事業費	事業費	2,231	3,523	761
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,231	3,523	761
	人件費計	10,710	10,710	11,220
	正規（人）	1.70	1.70	1.70
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	環境基本計画記載事業の進捗を管理し、成果指標の現状値を環境審議会にて報告し、市公式ウェブサイト望遠郷にて公表しました。また、令和3年度を初年度とする次期環境基本計画の作成に着手しました。	環境基本計画記載事業の進捗を管理し、成果指標の現状値を環境審議会にて報告し、市公式ウェブサイト望遠郷にて公表しました。また、令和3年度を初年度とする第2次環境基本計画を作成しました。	第2次環境基本計画の推進にあたり、令和3年度アクションプランを作成し公表します。また、第1次環境基本計画記載事業の進捗を管理し、成果指標の現状値を環境審議会にて報告し、公表します。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02733 環境基本計画推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
環境報告書の作成	一式	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00
環境審議会の開催	回	2.00 2.00	3.00 3.00	1.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	国や県の計画に即しつつ、市の計画に基づく施策推進が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	環境施策を計画的に推進する市民ニーズが十分あります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標通りに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	次期計画の作成において、効果的な事業手法を検討していきます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	法律や条例に位置付けられた事業であり、適正に遂行しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	安城市環境基本計画に基づき、市民や事業者の環境意識の向上につながる施策を推進し環境審議会において進捗管理を図り、その結果を広く公表することで環境施策の充実に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02734 環境学習・意識啓発推進事業

所属長名 籠瀬 博敬
担当者 近藤 健一郎
電話番号 0566-71-2280

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	005	環境学習及び環境配慮行動の促進と支援			
事務事業	001	環境学習・意識啓発推進事業			
事業期間	平成 7年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・環境アドバイザー等支援事業 ・環境意識啓発事業 ・地球温暖化対策地域協議会事業 ・環境学習推進事業 ・環境教育事業 平成29年度末に、環境アドバイザー等支援事業は終了しました。				

【事業分析】

対象	市民や事業者が、
目的	環境への興味・関心を高め、環境に配慮した行動を実践するようになります。
手段	市民団体等と協力し、多種多様な環境学習・意識啓発事業を実施します。
事務内容	市民団体等との環境協働事業の実施、水環境・森林保全啓発に係るイベントなどを開催します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		13,567	13,600	18,370
事業費		7,267	7,300	11,770
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	380	0	500
	一般財源	6,887	7,300	11,270
人件費計		6,300	6,300	6,600
	正規（人）	1.00	1.00	1.00
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	市民団体等と協力し、 多種多様な環境学習・ 意識啓発事業を実施し ました。	市民団体等と協力し、 多種多様な環境学習・ 意識啓発事業を実施し ました。	市民団体等と協力し、 多種多様な環境学習・ 意識啓発事業を実施し ます。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02734 環境学習・意識啓発推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
わくわくネイチャースクールの実施回数	回	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00
市民団体等との環境協働事業実施数	回	0.00 0.00	120.00 171.00	120.00 0.00
あつまれねばの森実施回数	回	0.00 0.00	1.00 1.00	1.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	市の地域特性に即した環境学習の実施、環境意識啓発が必要です。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	広く環境意識を醸成させることの市民ニーズは十分にあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	わくわくネイチャースクールは実施しませんでした。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	より効果的な事業とするよう事業内容等の見直しを行っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体における環境学習事業と比較して適正であると考えます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	市民や事業者の方々の環境に対する意識の向上のため、幅広い分野や内容の環境学習の機会の充実に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02735 地球温暖化対策事業

所属長名 籠瀬 博敬
担当者 石川 千尋
電話番号 0566-71-2280

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	002	低炭素社会の実現			
事務事業	002	地球温暖化対策事業			
事業期間	平成 21 年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	スマートハウス普及促進補助金交付要綱、次世代自動車購入費補助交付要綱				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・新エネルギー導入事業 ・次世代自動車普及促進事業				

【事業分析】

対象	市民や事業者が、
目的	脱炭素を意識した行動や事業活動を行っていただくようにします。
手段	再エネ・省エネ機器、次世代自動車などの設備類の普及を図ります。
事務内容	再エネ・省エネ機器、次世代自動車などの購入者への補助金交付と普及のための啓発を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		37,327	37,246	39,066
事業費		27,877	27,796	29,166
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	5,158	5,923	3,850
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	22,719	21,873	25,316
人件費計		9,450	9,450	9,900
	正規（人）	1.50	1.50	1.50
その他経費		0	0	0

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付しました。	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付しました。	再エネ・省エネ機器、次世代自動車（PHV、EV、FCV、超小型電気自動車）の補助金を交付します。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281010 環境都市推進課環境政策係
事務事業 02735 地球温暖化対策事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
スマートハウス普及促進補助金の件数	件	300.00 360.00	300.00 365.00	300.00 0.00
次世代自動車購入費補助金の台数	台	95.00 59.00	95.00 50.00	95.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	国・県と歩調を合わせ取り組んでいく必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	再エネ等についての支援に対する市民ニーズは十分にあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	次世代自動車購入補助金は目標を下回りました。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	より効果的な補助内容とするよう要綱の見直し等を行いました。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	周辺自治体における同種の補助施策と同程度の支援内容です。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	2050 年カーボンニュートラルの実現に向け市民や事業者の脱炭素を意識した行動を実践していただくことが、これまで以上に必要となっています。他の事例等の調査研究により、従来からの取り組みの見直しや、新たな取り組みの立案により、地球温暖化対策の充実に努めてまいります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02737 合併浄化槽普及事業

所属長名 籠瀬 博敬

担当者 鈴木 正洋

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	002	4 都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	044	合併浄化槽普及事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	浄化槽法、安城市生活排水処理基本計画、安城市污水適正処理構想				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	良好な生活環境で過ごせるよう、河川等の水質改善を図ります。
手段	公共下水道認可区域（当該年度に認可が見込まれる区域を含む。）及び農業集落排水処理区域以外の地域で単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽（窒素除去型及び窒素磷除去型）に転換する者に対し、補助金を交付します。
事務内容	補助金交付申請を受け付け、審査のうえ浄化槽の人槽に応じて補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		14,843	10,771	15,346
事業費	事業費	10,433	6,676	13,366
	国庫支出金	1,668	2,722	5,836
	県支出金	807	1,337	2,334
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,958	2,617	5,196
	人件費計	4,410	4,095	1,980
	正規（人）	0.70	0.65	0.30
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	補助基数 実績 9 5 基	補助基数 実績 8 基	補助基数 計画 1 6 基
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02737 合併浄化槽普及事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
合併処理浄化槽設置基 数	基	145.00 95.00	16.00 8.00	16.00 0.00

【定性評価】						
カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		国、県からの間接補助を活用し、補助事業を推進します。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		みなし浄化槽及びくみ取り便槽がまだまだ利用されています。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		2
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		計画基数を上限に補助事業を推進しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		効果的な補助制度を推進しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		国・県の動向及び近隣市の状況を考慮して事業を進めています。				

【1 次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	生活排水による公共水域への水質汚濁の低減を図るため、引き続き、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併 処理浄化槽への転換を促進します。

【2 次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02739 水質汚濁防止事業

所属長名 籠瀬 博敬

担当者 鈴木 正洋

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保			
事務事業	002	水質汚濁防止事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・水質汚濁防止事業 ・環境対策広域事業 ・生活排水対策実践事業 ・油ヶ淵水質浄化事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	水辺の環境やその浄化活動に関心を持ち、河川等の水質改善を図ります。
手段	公共水域の水質状況の把握と、水質浄化のための啓発を行います。
事務内容	市内主要12河川の水質調査を年5回、水質細密及び底質調査を年1回行い、公共水域の水質状況を把握します。 油ヶ淵の水質浄化を図るため、「油ヶ淵浄化デー」等の実践・啓発活動を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		6,863	5,736	8,851
事業費		3,713	3,216	3,901
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,713	3,216	3,901
人件費計		3,150	2,520	4,950
	正規（人）	0.50	0.40	0.75
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
【事務事業活動実績】	河川等水質調査 6 回 油ヶ淵浄化デー 7/28	河川等水質調査 6 回 油ヶ淵浄化デー中止。 アクション油ヶ淵10/4 油流出事故対応 7 回	河川等水質調査 油ヶ淵浄化デー 7/25 アクション油ヶ淵

事務事業評価シート（２／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02739 水質汚濁防止事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
環境基準達成率	%	90.00 81.00	90.00 81.00	90.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由		市内主要河川と油ヶ淵の水質調査をしています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由		きれいな河川が望まれています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		2
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由		環境基準を下回る地点があります。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由		油流出事故の防止に向けた啓発を推進しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由		愛知県、油ヶ淵周辺市と連携して取り組んでいきます。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	国、県、近隣市との連携と市民への啓発により、河川等の水質の浄化に努めます。市内の河川では、一部で河川類型が向上し、長期的には水質改善がみられており、主要河川では、概ね環境基準を達成する状況がみられています。一方で、油ヶ淵は、恒常的に基準値に達していないことから、引き続き県や近隣市と連携して水質浄化の事業を推進します。 油流出事故は、毎年数回発生しており、事業者への注意喚起により未然防止を図り、事故が発生した場合は、関係機関と連携し、流出した油の回収と原因究明を行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02740 公害防止事業

所属長名 籠瀬 博敬
担当者 亀島 章広
電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保			
事務事業	003	公害防止事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・大気汚染防止事業 ・騒音・振動防止事業 ・土壌汚染防止事業 ・悪臭防止事業 ・有害化学物質測定事業 ・地盤沈下防止事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	快適な環境で暮らすことができるよう、公害の発生抑制を図ります。
手段	道路騒音などの公害要素を定期的に測定するとともに、違法性のある野焼きなどの相談については、その都度対応を行い快適な生活環境の実現を目指します。
事務内容	騒音、振動、悪臭、地下水位の測定、工場・事業所等の届出の受理及び市民から寄せられる公害相談に対して原因を究明し、改善対応を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		7,944	7,763	9,311
事業費		2,274	3,353	4,361
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,274	3,353	4,361
人件費計		5,670	4,410	4,950
	正規（人）	0.90	0.70	0.75
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	自動車騒音調査 1 回 臭気測定 3 か所	自動車騒音調査 1 回 臭気測定 3 か所	自動車騒音調査 臭気測定
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02740 公害防止事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
環境基準・要請限度達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		2
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由		国、県との役割分担に基づいて実施しています。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
理由		快適な生活環境が望まれています。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
理由		環境基準等を達成しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由		他で補完できるものは、事務を廃止しています。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由		他の自治体とも連携して対応しています。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	自動車騒音や臭気の測定により、市内の環境状況を把握を行うとともに、事業者に対する講習会の開催や公害相談があった場合の指導対応などにより、適正な環境維持に努めます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

7 頁
令和 3年 8月24日
08時58分07秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02741 さわやかマナー推進事業
【基本情報】

所属長名 籠瀬 博敬
担当者 伊藤 寿典
電話番号 0566-71-2206

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	002	環境			
項目（施策）	001	3 環境			
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保			
事務事業	004	さわやかマナー推進事業			
事業期間	平成27年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市さわやかマナーまちづくり条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	快適かつ安全に暮らすことができるよう、さわやかマナーの啓発を図ります。
手段	市民に対し、6つのさわやかマナーの啓発を行います。
事務内容	さわやかマナーまちづくり活動団体の募集、啓発品の提供、年2回程度の啓発キャンペーンを行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		3,290	3,146	5,120
事業費		1,400	1,571	2,150
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,400	1,571	2,150
人件費計		1,890	1,575	2,970
	正規（人）	0.30	0.25	0.45
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	啓発活動 2 回 活動団体 40団体	・啓発活動は中止。代替として、市公民館に啓発用マスクを設置・配布。 ・活動団体 42団体	・年度前半の啓発活動は中止。年度後半は啓発又は啓発品の配布・設置。 ・活動団体 42団体

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02741 さわやかマナー推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
活動団体登録数	団体	40.00 40.00	40.00 42.00	40.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	さわやかマナーまちづくり条例に基づいて実施しています。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	快適で安全な生活環境が望まれています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	今後も活動団体募集のPRを続けていきます。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	効果的な啓発及び活動団体の支援を検討していきます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他市にはない安城市独自の取り組みで進めています。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後もさわやかマナーまちづくり活動団体によるマナー啓発と街頭でのキャンペーン活動による啓発を行い、さわやかマナー推進員などからの意見を参考にし、マナー啓発の推進に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02742 狂犬病予防対策事業

所属長名 籠瀬 博敬
担当者 伊藤 寿典
電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	003	5 生活安全			
施策の方針	001	5 生活安全その他			
事務事業	002	狂犬病予防対策事業			
事業期間	平成12年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	狂犬病予防法				
備考					

【事業分析】

対象	犬の所有者が
目的	飼い犬の登録と予防注射を適切に実施することにより、狂犬病予防を図ります。
手段	犬の登録や異動に関する申請の受付を行っています。狂犬病予防注射については多くの市民に実施してもらうよう、15日間にわたり公民館等で集合注射を実施します。
事務内容	登録鑑札及び注射済票の交付、各種交付手数料の収納、集合注射等の事務を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		7,153	7,813	8,229
事業費	事業費	4,003	4,033	4,599
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	4,003	4,033	4,599
	一般財源	0	0	0
	人件費計	3,150	3,780	3,630
	正規（人）	0.50	0.60	0.55
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	15日間（34会場） で集合注射実施。	新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため、 集合注射を中止。	15日間（34会場） で集合注射実施。

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02742 狂犬病予防対策事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
狂犬病予防注射実施率	%	91.80 90.60	91.80 89.07	91.80 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		狂犬病予防法に基づいて実施しています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
理由		狂犬病予防防にとって重要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
理由		コロナ禍で接種率は下がっていますが、大幅な低下はありません。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		集合注射事務について効率化を図っています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		各種手数料は、県内一律に決まっています。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和2年5月に豊橋市において、海外からの入国者が入国以前に犬に咬まれ、入国後に狂犬病に感染していたことが判明した事案がありました。近年、国内での狂犬病の発生はありませんが、狂犬病が国内に侵入し流行する可能性は十分考えられるので引き続き事業を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02743 防疫活動事業

所属長名 籠瀬 博敬

担当者 伊藤 寿典

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	001	1 1 防災・減災			
施策の方針	007	感染症対策			
事務事業	001	防疫活動事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	蚊等の衛生害虫の発生を防ぐことにより、快適な環境で暮らすことができますようにします。
手段	防疫活動を行う町内会に対し、薬剤配布と散布機器の貸出しをします。
事務内容	町内会への薬剤（油剤、発泡錠剤）の配布及び散布機器の貸出を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		3,695	5,211	7,605
事業費	事業費	2,435	2,061	4,305
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,435	2,061	4,305
	人件費計	1,260	3,150	3,300
	正規（人）	0.20	0.50	0.50
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	二兼機貸出延べ台数 65台 薬剤の配布量 油剤 47缶 発泡錠剤 8,119袋	二兼機貸出延べ台数 61台 薬剤の配布量 油剤 52缶 発泡錠剤 6,919袋	二兼機貸出 薬剤の配布 化学物質を極力使用し ない防疫活動について の講習会 在庫薬剤の回収・処分

事務事業評価シート（2 / 2）

12 頁
令和 3年 8月24日
08時58分07秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02743 防疫活動事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
薬剤の必要数の調査	回	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00
二兼機借用希望調査	回	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある			
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている			
理由		町内会の要望に基づいて実施しています。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		2
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している			
	3		市民ニーズはない又は不明である			
理由		町内会からの要望は近年、減少傾向にあります。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
	2		目標を下回る進捗状況である			
	3		進捗はかなり遅れている			
理由		町内会の要望を考慮し、実施しています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる			
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない			
理由		油剤散布する町内会等が年々減少傾向にあります。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		2
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。			
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。			
理由		薬剤散布、機器の貸出しをしている自治体は少なくなっています。				

【1次評価結果】	
事業の方向性	縮小・統合
1次コメント (400文字)	町内会に対し、化学物質を極力使用しない防疫活動の啓発に努め、薬剤散布と散布機器の貸し出しの縮小を検討します。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係

事務事業 02744 市営霊園管理事業

所属長名 籠瀬 博敬

担当者 亀島 章広

電話番号 0566-71-2206

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4 都市基盤（住環境）			
施策の方針	001	4 都市基盤（住環境） その他			
事務事業	002	市営霊園管理事業			
事業期間	昭和27年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市霊園の設置及び管理に関する条例・安城市霊園の管理に関する規則				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	必要に応じて、墓所の確保ができ、墓所を安全かつ快適に利用できるようにします。
手段	市営霊園の環境保全及び施設管理に努めるとともに、市民の墓地需要に応えるよう、計画的な整備により安定的に墓地の提供を行います。
事務内容	霊園使用受付事務、使用承継及び埋蔵届等のデータを管理しています。トイレなどの霊園内施設の管理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		8,342	11,830	9,646
事業費	事業費	3,932	7,420	6,346
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	462	809	840
	一般財源	3,470	6,611	5,506
	人件費計	4,410	4,410	3,300
	正規（人）	0.70	0.70	0.50
その他経費		0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	・役員会3回（安城霊園・橋目霊園は、総会を兼ねる。） ・総会1回（多門霊園） ・組合員の意見を聴く会（安城霊園）	・役員会3回（安城霊園・橋目霊園は、総会を兼ねる。） ・総会1回（多門霊園） ・組合員の意見を聴く会（安城霊園）	・役員会3回（安城霊園・橋目霊園は、総会を兼ねる。） ・総会1回（多門霊園） ・組合員の意見を聴く会（安城霊園）

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価
所属 0001281020 環境都市推進課環境衛生係
事務事業 02744 市営霊園管理事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
墓所申込数／返還墓所数	%	100.00 68.18	100.00 106.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2	理由	民間需要とのバランスを取りながら行っています。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	近年、お墓をめぐる市民ニーズの多様化が進んでいます。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	墓所の需要と供給のバランスを図っていきます。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	施設の老朽化が進んでおり、適切な管理・検討を行います。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	2
	理由	将来に向けて長期的な管理・運営の検討が必要です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	お墓は、何世代にも渡り利用されるものであるため、霊園施設の計画的な補修をし、サービス水準の維持に努めます。また、少子高齢化、核家族化など社会情勢が変化している中で時代に合ったサービスの在り方についても霊園管理組合と協議しながら検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。